

Terra Academy

サマーキャンプ 2017 ガイドブック



Terra Academy

Terra Academyサマーキャンプへのご応募に関する詳細は以下の募集要項をご覧ください。みなさまのご応募、心よりお待ちしております！

開催期間

2017年8月11日（金）～15日（火） 4泊5日

※11日（金）11:00 現地集合、15日（火）16:00 現地解散

開催地

会場：筑波大学 館山研修所

会場連絡先：TEL.0470-22-1942

URL：<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/facilities/s-tateyama.html>

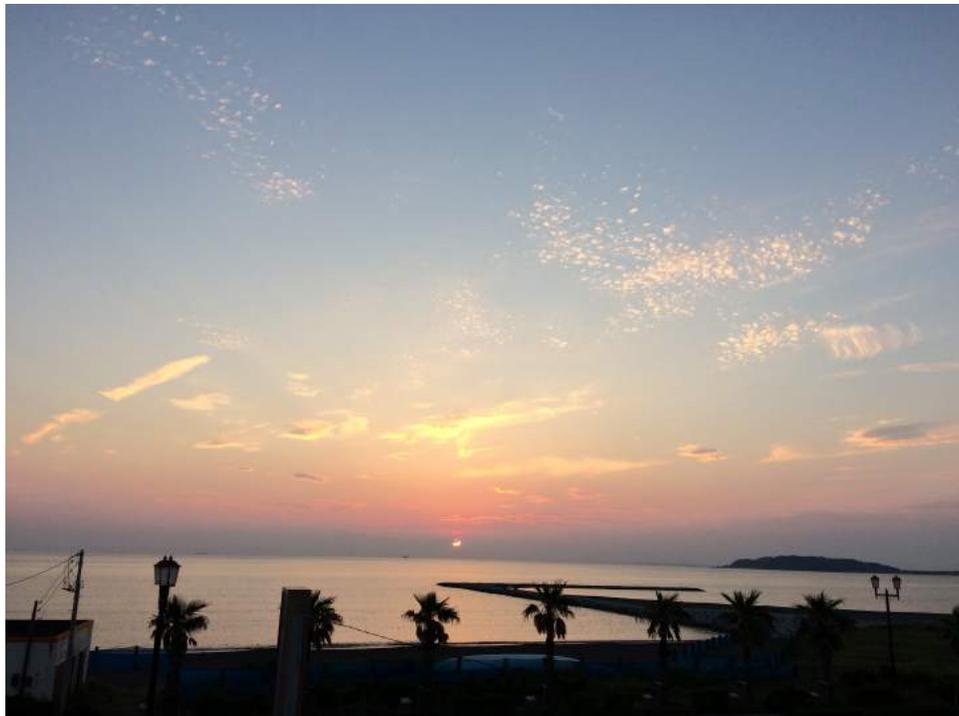
ウェブサイト：<http://terra-academy.jp/>

お問い合わせ：info@terra-academy.jp

会場写真



JR館山駅：駅から会場まで徒歩3分



ビーチから徒歩1分の筑波大学の館山研修所



筑波大学館山研修所の外見



バンクベッド式の合宿所で仲間と過ごします



ビーチで行うアウトドア活動やマリンスポーツも開催します

開催地へのアクセス・集合場所

11日（金）11:00 現地集合、15日（火）16:00 現地解散

※開催地住所：〒294-0045 千葉県館山市北条2861番地

※東京から高速バス房総なのはな号約2時間、館山駅下車徒歩3分

※東京駅からJR総武線・内房線で約2時間30分、館山駅下車徒歩3分

※アクセスURL：

<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/facilities/s-tateyama.html>

※開催地までの交通費は参加者ご負担となります。ご了承下さい。

参加費用

~~15万円（税込）~~ → **9万8千円（税込）**

※5日間の宿泊・食費を含みます。

※一般財団法人活育教育財団からのご支援により、全参加者に5万2千円のサポート奨学金が寄附されることになりました！

プログラム内容

TerraAcademyのサマーキャンプでは、考える力、プレゼン力、問題解決力を5日間で確実にスキルアップすることを目的に、「デザイン思考」や「システム思考」、また世界的企業の多くが採用しはじめている「スクラムによるアジャイル開発」という手法をとりこんだ、世界最先端のプロジェクト型のワークショップを行います。

素早くプロトタイプを作成・改善することで問題解決への最速化を目指すためのチーム作りや思考・行動の方法を短期間で身につけられるためのプログラムを用意しています。人はマインドが変わり、方法を知ることによって大きく成長します。当然、知識や技術の身に付き方も変わってきます。

①不安な状況でも柔軟に物事を考え、行動をとるマインドセット

【主体性を身につける】

人間には目的達成を邪魔している固定概念や思い込みがたくさんあります。それらを乗り越えて新しい視点を得るためには、なぜ思いこんでしまうのか、どのような思い込みがあるのかに気づく必要があります。頭と体を使ったアクティビティを通じて、自分の思い込みを乗り越える方法を実践します。そのうえで、自分自身の志向性を確認し、実現のための具体的プランを発表します。

②デザイン思考やスクラム開発を軸としてのプロジェクト

【社会性を身につける】

現代のホットワードであるAIというテーマについて、データや事例を元に社会の中で自分ができることを考えます。AI・ロボット時代には、先生・記者・役者・介護などの職業がAIに取って代わられるという考えがありますが、それについて、どのようなメリットや危険性があるのかをチームで考え、その職業において人間とAIがうまく共存するための具体的な解決策を提案します。

③フィードバックの効果を最大化する

【成長力を身につける】

現実のプロジェクトにおいて、誰かに効果的にフィードバックを与えたり、また誰かからフィードバックを受けて適切な対処をとることは難しい。まず、それらの理由を脳科学の観点から学習します。その後、どうやったら効果的なフィードバックになるのかをクラス全体で考え、ロールプレイを通じて実践します。

④プレゼンテーションスキルを身につける

【説得力を身につける】

海外でも通用するプレゼンにおける12のポイントを紹介します。その中でも、声と体の使い方、プレゼンの構成、フィードバックの反映、ストーリーの作り方、WHY/HOW/WHATなど特に海外進学を目指す学生にとって有用なスキルについて掘り下げて解説します。

上記のメインワークショップ以外にも、楽しいアイスブレイクや、アウトドア&インドア企画、毎晩行われるファシリテーターと少人数の生徒グループでの振り返りアドバイザリーなど、様々なアクティビティも行います。

Terra Academyのサマーキャンプは、様々な実績を持つ講師陣の経験やスキルを詰め込んだ、変わりたいのに変わり方が分からない、きっかけが欲しいのに今まできっかけが掴めなかった高校生のための濃密な5日間です。

私たちと第一歩を踏み出しましょう。きっと、世界の見え方が変わるはずですよ。

サマーキャンプスケジュール（予定）

1 日目		2 日目	
9:00~ 12:00	・参加者到着 (11:00)	①世界で活躍するマインドとは？ ①どんな人になりたいか？	
13:00~ 18:00	・アイスブレイク ・オリエンテーション ①グローバルマインド ②デザイン思考スタート	②社会課題の探求 ②チームで問題の根底を探る ③効果のない課題解決を避けるには？	
20:00~ 22:00	・小グループタイム ・フリー作業	・小グループタイム ・フリー作業	
3 日目		4 日目	
9:00~ 12:00	①自分の思い込みと癖とは？ ①柔軟に物事を考える方法	④もっと上手く プレゼンをするには？ ④プレゼンの最終準備	
13:00~ 18:00	②枠を外して解決策 をたくさん生み出す ①考えを行動に移す力 ④中間発表 ③良いフィードバックの方法	・アウトドア活動 ・マリンスポーツ ・BBQ & ビーチバレー	
20:00~ 22:00	・グローバルパーティー	・小グループタイム ・フリー作業	

5日目 (最終日)

9:00~ ④チームのプレゼン大会
12:00 ・感謝とリフレクション

13:00~ ・5日間の振り返り
16:00 ・自分の1分間ピッチ
 ・解散 (16:00)

使用言語

日本語・英語

※基本は日本語でのキャンプとなります。時折英語を使うこともございますが、バイリンガルの講師が付き添ってサポート致しますので、英語が苦手な方でも問題なく参加できます！

参加予定人数

40名

※最少催行人数：10名

最少催行人数に満たなかった場合は、7月10日までにご連絡いたします。

保険

参加者の方々には、傷害保険に加入していただきます。（保険料は参加費に含まれます。）

アクティビティやキャンプ中の怪我、捻挫、擦過傷などが含まれます。熱中症や熱射病は病気に分類されるため対象外となります。

貴重品について

貴重品については自己管理をお願い致します。

当日はお金を使うことはほとんどありませんので、トラブルを避けるためにも大きなお金やサマーキャンプに関係のない貴重品等はなるべくお持ちいただかないようお願い致します。

緊急時の対応

地震・津波などの緊急災害時は、千葉県安房西高等学校（会場より徒歩3分）が緊急避難場所となります。

火事・怪我・病気などの緊急の場合、車で15分ほどの距離にある安房地域医療センターが24時間診療受付しておりますので、そちらで対応致します。

緊急時には、保護者様へ当サマーキャンプスタッフより迅速にご連絡し、状況をお伝え致します。

緊急時の連絡先：090-1832-3737（事務局長野崎）

持ち物

服、下着類、寝巻き、水着、サンダル、洗面化粧品、筆記用具、ノート、保険証の写し

※その他持ち込みOKのもの：PC、タブレット、スマートフォンなどはプロジェクトで使用する可能性があるため、持ち込みOKです。

※持ち込み禁止のもの：ゲーム機、マンガ本など、キャンプに関係のないものは持ち込み不可と致します。

※服装は自由です。野外のアクティビティがありますので、運動できる服装や靴をお持ちいただければと存じます。

※施設内に洗濯機があり、洗濯することは可能です。洗剤などもこちらでご用意します。

食事

1日目の昼食から、最終日の昼食まで、筑波大学研修所の専属キッチンスタッフがお食事をご用意いたします。参加者がアレルギーをお持ちの場合、同意書を通じて必ずお伝え願います。

ご応募締め切り

7月21日（金）を締め切りの日に設定しております。

※定員に達し次第締め切りますので、お早めにご応募下さい。

キャンセルポリシー

開始1ヶ月前（7月11日）までは全額返金致します。

開始1ヶ月前から1週間前（8月3日）までは70%の金額をご返金致します。それ以降は返金不可となります。

※宿泊施設や食事の予約の関連上、どうしても上記返却金額となっておりますことを、予めご了承下さい。

その他、ご連絡事項

Terra AcademyのTシャツを作り、当日お配りします。同意書を通じてご希望サイズをお教え下さい。L,M,S（詳細なサイズに関する情報は、別途ご連絡致します）。

プログラム中はカメラマンが参加者を撮影し、Terra Academyのオフィシャルサイトや各種メディアに露出される場合がございます。予めご了承ください。

今後、新しい情報や変更がある場合は、アップデートされたガイドブックをお送り致します。

Teamメンバー紹介



町田 来稀

株式会社ImaginEx 代表取締役

米ブラウン大学生物学部人間生物学科卒。ボストンで生まれ、23年間アメリカとシンガポールで過ごす。卒業後はC型肝炎のワクチン開発の研究に取り組む。2013年からは軽井沢で日本初となる全寮制インターナショナルスクール (ISAK) の立ち上げメンバーとして活躍。ISAKのサマースクールのディレクターおよびリーダーシップ・カリキュラム構築のコンサルタントおよび講師として関わる。米国のマインドフル・スクールや世界的に活躍するコーチ、デーヴ・モーケルのトレーニングも受け、今まで世界30都市、6000人以上にワークショップを行う経験を持つ。

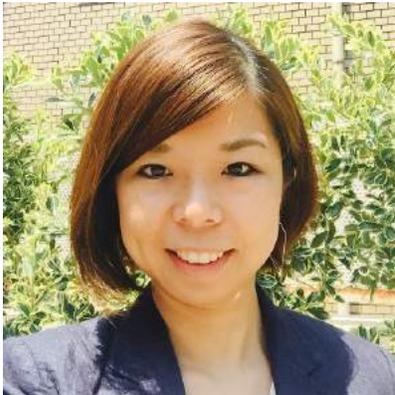


ステファン フシェ

Taktopia アドバイザー

ハーバードのキャリアフォーラム「HCJI」の名誉代表。カナダのモントリオール生まれ、ハイチ育ち。ハーバード大学卒。12歳の頃、ハイチの政変でアメリカのニューヨークへ移住。九州大学の国費外国人留学制度を活用し、日本の在住経験もある。現在、日本のマネックス(Monex)証券で勤務。また一方で、Harvard College Japan

Initiativeの名誉代表として現在活躍中。子供の頃から日本のインフラ、例えば交通機関や防災対策等に対して興味深く感じており、それがきっかけとなり、日本語の勉強を始める。英語・フランス語・スペイン語・クリオール語・日本語の5ヶ国語を運用することができる。



杉本 亜美奈

Doctor of Public Health (DrPH) 課程 ロンドン大学

London School of Hygiene & Tropical Medicine 博士課程。東京大学卒、アフリカで育ち。グローバルヘルスやヘルス・エコノミックスを専門とする傍ら、医療者向けの問題発見解決力、チーム力、リーダーシップなどのソフトスキル開発教育プログラム開発を行なっている。



濱本佳奈

Brown University

公文国際学園を卒業し、ブラウン大学へ入学。心理学を専攻しており、特に子供の発達や教育に関心を持っている。これまで海外大受験を志望する日本人高校生の支援活動をしてきた。



片山 晴菜

Minerva Schools at KGI

進学者札幌で16年間育ったあと地元の高校を中退しUWC-USAに通い国際バカロレアプログラムを修了。2017年秋より日本人初の合格者としてMinerva Schools at KGIに進学予定。第1期柳井正財団海外奨学金プログラム奨学生。

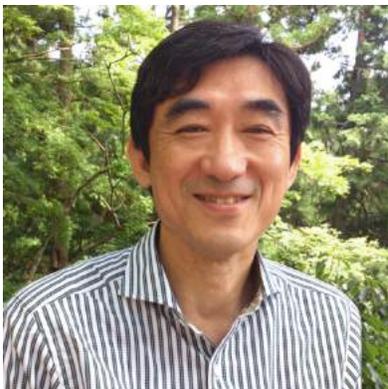


野崎 智成

活育教育財団 共同代表理事

2014年に「イキイキと生きる力を引き出す」をミッションに、Viling, PTE.LTDと活育教育財団を設立。未来のためにあるべき教育を追求するために、新しい学校の設立プロジェクト、教育特化型インキュベーション事業など、様々な教育事業を推進中。

アドバイザー紹介



炭谷 俊樹

ラーンネット・グローバルスクール代表

マッキンゼーにて日本及び北欧企業のコンサルティングに携わる。

子どもの好奇心を爆発させるラーンネットを創設し、20周年を迎える。

神戸情報大学院大学学長としてはICT技術を活用した「探究実践」教育を50カ国からの留学生に実施している。



矢萩 邦彦

知窓学舎塾長 スタディオアフタモード代表

パラレルキャリアの実践者として、ジャーナリズム・クリエイティブデザイン・コンサルティングなど幅広い活動を継続しながら20年以上教育現場での直接指導に携わる。「探究×受験」「楽しく生きるための教養と哲学」をテーマに学生が多様な世代やプロと対話をしながら学ぶ場作りを進めている。

主催者：一般財団法人 活育教育財団 (<http://www.katsuiku.org/>)
パートナー：株式会社ImaginEx (<https://imaginex.jp/>)

